

令和 8 年度事業計画及び収支予算について

I 令和 8 年度事業計画

公益財団法人名古屋市民休暇村管理公社（以下、「公社」という。）は、令和 7 年度末にて 5 年間の指定管理業務を終え、1 年間の指定管理延長という形で令和 8 年度の管理運営を行うこととなりました。

令和 7 年度においては、経営健全化方針の取組み実施の 1 年目として、経営健全化に取り組んでまいりましたが、利用者数においては、令和 7 年度末にて 15,800 人（セントラルロッジ、キャンプ場）と一定の増加はみられたものの、収支については、十分な改善を実施することができませんでした。

このような状況のもと、令和 8 年度においては、「ラストチャンス」という認識をしっかりと持ち、公社一丸となって経営健全化方針の取組みを実施し、経営改善に努めてまいります。

また、地元王滝村を始め近隣の自治体とも緊密な連携・協力を図り、事業を進めてまいります。

1 経営健全化方針に基づく取組み

令和 6 年度に策定された経営健全化方針の取組み状況等については、別紙参照。  
（資料 報告事項 3）

2 経営健全化方針に関連した取組み

経営健全化方針に基づく取組みを一層進めるために、以下の施策に取り組めます。

(1) 名古屋市民向けサービス「よういりゃ〜た」キャンペーン

令和 8 年 4 月より名古屋市民向けサービスを新たに開始します。セントラルロッジにご宿泊された名古屋市民に「木曾ヒノキの箸」を漏れなくプレゼントします。これにより名古屋市民利用者の拡大を図ります。

(2) 御嶽山国定公園記念事業

御嶽山国定公園指定に伴ない、民間旅行会社等と連携し、新たなシニア向け企画ツアーを販売します。また、ファミリー層をターゲットとした「謎解きウォーキング『アルクエスト』」を実施します。

### (3) フロント業務のシステム化

令和7年度からの実施が遅れているフロント業務のシステム化を引き続き取り組んでまいります。フロント業務が電話予約中心であったり、紙ベースでの予約管理であったりする現状を以下のように改革し、利用者へのサービス向上及び従業員の負担軽減を図ります。

- ① 導入された統合型宿泊システムを活用し、複数の宿泊予約サイトと公社ホームページの予約システムを自動で一元管理します。
- ② スマートチェックイン・チェックアウトにより、利用者の待ち時間短縮及びフロントスタッフの業務軽減を図ります。
- ③ 集計データや販売データ等の情報把握が正確かつ短時間で抽出できるようにし、営業や経理事務の改善を図ります。

### (4) 利用者サービスの向上

#### ① バーベキューテラスの設置

ファミリー層や若年層の利用者拡大を図るため、人気の高いバーベキューコーナーを食堂前のテラスに設置します。(令和7年度からの継続)

#### ② 焚火テラスの設置

新しい癒しの時間として、心身のバランスを整えたい若者層の取り込みを図るため、焚火テラスを設置します。

#### ③ 登山者向けデジタルサイネージの設置

御嶽山の天候、火山情報、危険箇所などの情報や星の観望会、送迎案内などの館内情報をリアルタイムで発信する情報コーナーを設置します。

### (5) PR 事業の拡充

様々な広告媒体を駆使して、おんたけ休暇村をPRします。

- ① 外部委託による SNS 広告
- ② 交通系広告 (栄、名駅)
- ③ 台湾インフルエンサー招聘

## 3 環境保全・安全対策に向けた取り組み

### (1) 環境保全への取組

市民の貴重な財産である休暇村の広大な自然の保護等、環境保全に努めます。

#### ① 市民の森づくり事業

王滝村や王滝村民との協働のもと、下流域の市民から広く参加者を募って広葉樹の植樹を行う「市民の森づくり事業」を実施します。

#### ② 森林環境の整備

敷地内の森林保全及び整備等を、長野県林業大学校の協力も得ながら進めま

す。

## (2) 安全対策

### ①施設の保全

建物・機械設備等は、保守点検及び法定点検のほか日常点検を欠かさずに行い、性能の維持管理に努めるとともに利用者の安全確保に努めるとともに、道路、遊歩道、橋梁、駐車場のほか村内敷地の日常的な点検・整備を行い、快適かつ安全な状態の維持に努めます。

### ②事故、災害への対策

消防訓練等の実施により、火災等災害の予防、従業員の防災意識の高揚を図るとともに、ノロウイルスなどによる感染症や食中毒防止、レジオネラ属菌対策など衛生管理を徹底します。

### ③感染症等への対策

令和5年5月から新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類となったことに伴い、利用者への制限は撤廃しましたが、職員には引き続き検温、消毒液による手指消毒、マスク着用を徹底し、感染防止に努めます。

### ④獣害対策

熊や猪などの出没が増加している傾向を踏まえ、長野県や王滝村の協力を得ながら、事故の未然防止策を講じます。令和8年度もキャンプ場エリアにて電気柵を増設します。

## 4 長野県南部で発生した地震及び御嶽山噴火による影響と今後の見通しと取組

### (1) 長野県南部で発生した地震の影響と今後の見通し

平成29年6月25日に発生した木曾町を震源とする地震の被害により、セントラル・ロッジを3年間休館しました。令和7年度は、個人利用・団体利用とも回復基調となり、宿泊者数は令和6年度から4,300人程度増加し、15,800人前後となる見込みです。(工事関連業者を含む)

令和8年度は、利用実績20,000人(セントラル・ロッジ17,000人、キャンプ場3,000人)を目標に、全力で取り組んでまいります。

### (2) 御嶽山噴火による影響と今後の見通しと取組

平成26年9月27日に発生した御嶽山噴火の後、王滝口登山道は、御嶽山七合目の田の原天然公園から上部が入山規制されていましたが、令和4年8月には、火山防災の情報発信などを目的として、田の原に長野県立御岳山ビジターセンター「やまテラス王滝」がオープンしたほか、令和5年7月には、王滝村において、八丁ダルミへのシェルターの整備が行われことを受け、王滝頂上から剣ヶ峰への

直登ルートが復旧し、令和5年度以降、登山客は噴火以前に戻りつつあります。

令和8年3月時点では、噴火警戒レベルが1（火山であることに留意）であることから、御嶽山の状況に注視しながら、状況に応じて、地元自治体や観光関連団体との連携を図り、利用者の回復に努めてまいります。

(資料)

## 令和8年度 公益目的事業（計画）

### 1 主催事業

主催事業回数 88回 延べ参加人員 10,773人

#### (1) 自然体験事業

実施回数 25回 延べ参加人員 1,395人

事業名	回数	人員	実施時期
植樹など水源の森づくり	1	100	9月
自然体験登山・トレッキング	13	560	4～7, 10～12, 3月
天文教室、特別観望会	4	400	6, 8～10月
農業体験	4	160	11月
スケッチ・写真撮影会	3	175	5, 9, 10, 3月
合計	25	1,395	

#### (2) 青少年健全育成事業

実施回数 27回 延べ参加人員 3,148人

事業名	回数	人員	実施時期
こども村キャンプ	20	2,548	7, 8月
親子体験（昆虫採集・標本、森の学校、スターウォッチング）	3	130	8, 9月
こども村スキーツアー・雪の学校	4	470	12, 1, 3月
合計	27	3,148	

#### (3) 健康増進支援事業

実施回数 36回 延べ参加人員 2,830人

事業名	回数	人員	実施時期
健康増進ウォーキング	23	2,170	4～11月
薬草観察	3	120	6, 9月
シニアスキー教室・健康増進スノーウォーキング	10	540	12～3月
合計	36	2,830	

#### (4) 体験館等の運営

参加人員 3,400人

事業名	人員	実施時期
食の体験館	200	通年
木工・工芸体験館	100	〃
天文館	3,000	4～11月
クライミング体験	100	通年
合計	3,400	

## 2 利用者目標

20,000人

### <内訳>

セントラルロッジ 17,000人

キャンプ場 3,000人